

なでしこジャパンが 2015 FIFA Women's World Cup で優勝する為に For Nadeshiko Japan wins the championship in 2015 FIFA Women's World Cup

1K09A142

指導教員 主査 奥野景介 先生

竹下 真衣

副査 小林美由紀 先生

【目的】

日本サッカー協会はこれまで「キャプテンズ・ミッション」及び「なでしこビジョン」により、普及・強化を目指す具体策に取り組んできた。これにより、2008年北京五輪で4位、第16回アジア競技大会2010で初優勝を飾り、好成績を残した。FIFA ランキングも世界4位にまで上昇させ、2011 FIFA Women's World Cup 初優勝にまで上り詰めたのである。

そして現在、「2015年 FIFA Women's World Cup で優勝する」という新たな目標を設定しているが、その具体的な課題や体策などは明確になっていない。

そこで本研究は3世代にわたる代表選手の意見を参考にし、2011 FIFA Women's World Cup で世界一になれた要因と、日本女子サッカーの歴史、平田竹男氏が考案した「スポーツ発展の好循環」を生み出すトリプルミッションを踏まえて、2015 FIFA Women's World Cup で優勝する為に必要な具体策と取り組みを検討する事を目的とする。

【方法】

対象者は、2008年北京オリンピックに出場した選手3名、2011 FIFA Women's World Cup に出場した選手3名、2012 U-20 FIFA Women's World Cup に出場した選手3名の3世代とした。

調査方法は、質問紙を用いた社会調査を実施し、なでしこジャパンは「チームとして」世界の選手に通用していたかどうか、2015 FIFA Women's World Cup で日本が優勝する為にはどのような強化や対策が必要か回答を求めた。

調査項目は、メンタル、技術、フィジカル、2015 FIFA Women's World Cup に向けての課題、今後強化すべき事、対象選手が考える次試合までに最も強化すべき要素、2015 FIFA Women's World Cup に向けての課題（自由記述）とした。

【結果】

メンタル面では、「プレッシャーに強い」と答えた選手は9人中3人であった。

技術面では、「キープ力がある」「決定力がある」と回答した選手は9人中1人であった。

フィジカル面では、「走るスピード・プレーのスピードがある」と回答したのは9人中1人、「ジャンプ

力・高さがある」と回答した選手はいなかった。

2015 FIFA Women's World Cup に向けての課題では、女子サッカーの「環境整備が必要」だと回答した選手は9人中7人、「資金の調達が必要」だと回答した選手は9人中6人であった。

「海外選手との対戦が必要」だと答えた人は9人中8人、「大会の組み合わせは成績に影響する」と回答した選手は9人中6人であった。

今後強化すべき年代では、「若手選手を強化する必要がある」と回答した選手は9人中6人、今後強化すべきチーム戦術では、「どちらともいえない」と回答した選手は9人中5人、今後強化すべき項目では、「個人を強化する必要がある」と回答した選手は9人中7人であった。

対象選手が考える、次試合までに最も強化すべき要素では、今後「技術を最も強化する必要がある」と回答した9人中4人であった。

2015 FIFA Women's World Cup に向けての課題（自由記述）では、「新チームの意識をどれだけ1つに出来るか」「アジア予選の大変さを味あわなければならない」「海外がチームとしての能力を上げてきた時、日本はどう対処するか」「日本全体でもっと女子サッカーの知名度を上げる」「女子サッカーに理解のある指導者をつけて、質の高いレベルアップを目指す」「周りからのプレッシャー」「決定力、個での打開力」

【考察】

3世代の代表選手たちの意見から、日本は「プレッシャーに弱い」「個での打開力がない」「スピードやジャンプ力・高さは海外に通用していない」「女子サッカーの環境が整っていない」「海外選手との対戦は重要である」「若手選手の強化が必要」「攻守両方の強化が必要」「チームよりも個人の強化が必要」「技術に重点をおいた強化が必要」といった事分かった。

そして、2015 FIFA Women's World Cup で優勝する為に必要な具体策と取り組みを検討した結果、トリプルミッションの「勝利」「資金」「普及」の3本柱をバランスよく発展させる具体策に取り組み、日本女子サッカー界の継続的な発展に努める事、また国際大会においてしっかり成績を残し、FIFA ランキングを上げて本大会で少しでも良い組に入れるように努める事が今後必要であると分かった。